

ここでは、議員の質問から主な項目をご紹介します。すべての質問項目は、ホームページでご覧いただけます。



基地対策／ 狭山市駅西口事業

大沢 えみ子 議員
(日本共産党)

◆**基地対策**

①C1輸送機の後継機であるXC2について、現状で把握している情報は ②基地への要望で(1)地デジ対策の実施状況は(2)稲荷山公園周辺踏切の掘削化の状況は(3)消火訓練の見直しへの基地側の回答は

市長 ①26年度に美保基地に初配備の計画で、災害派遣などで物資を効果的に搬送できるよう機体はC1の約1.5倍だが、騒音は軽減されると聞いている。

総合政策部長 ②(1)実績数値は936件、4562万4390円。②機会を通じて国に要望しており、今後も粘り強く要望していく。(3)訓練の燃料は上級部隊に要望しているが、現在は認められていない。引き続き要望していきたいとの回答を得ている。

◆**西口市民交流センターのオープンにあたって**

①バリアフリーなどの対応は ②駐車場の対策は

市民部長 ①点字ブロックの位置や多機能トイレのドアを自動に、また、乾燥機つき温水洗浄便座にする。さらに補聴器の機能をカバーする設備として、難聴者用磁気ループシステムを導入。②駅前という立地から、公共交通機関を利用してほしいと考える。

◆**中央公民館の移転について**

①市民要望への対応は ②駐車場無料券の発行を生涯学習部長 ①用具置き場は移転後もロッカー程度は用意する予定。展示ロビーは3階が活用でき、インターネットは一部の部屋を除き各室で接続可能。

教育長 ②公共交通機関の利用が基本で、社会教育施設とはいえず、駐車場無料券の発行は考えていない。



安心・安全を狭山の セールスポイントに

矢馳 一郎 議員
(無所属)

◆**危機管理マニュアル**に関して、定期的に見直し、変化する社会状況に適合したマニュアルとすべきでは。その際、さらなるリスクの洗い出しや、個別マニュアル完成時の訓練の実施なども検討しては。

市民部長 社会経済情勢などを踏まえ、新たな危機事項などに関する情報収集を行い、見直ししていく。研修や訓練は必要と認識しており、関係部署や機関と協議、検討し、具体的事案を想定して実施する。

◆**危機管理における人材の確保**について、中長期的には、被災地への派遣経験や危機管理部署での職務経験を持つ内部人材を庁内にバランスよく配置するような人事も考慮すべきでは。他方、内部人材の育成は時間を要することから、短期的に必要な知見を第三者による外部評価の導入や期限付き職員の出用などを通じて補う体制を整えてはどうか。

市民部長 危機管理は専門性が高く、その判断には経験や知識の積み上げが不可欠。人材育成も時間を要するが、まずは職員の研修や訓練の機会を増やし、危機対応能力の強化、育成を行う。外部有識者の点検・評価は、県の危機管理課がその役割を担っていることから、今後も連携を図りながら、点検・評価も含めた確認作業や協議をしていく。

◆**当市の充実した道路網、入間基地、広い公園**などの地理的条件を生かし、近隣地域が被災した際の後方支援拠点としての戦略的な街づくりを進めては。

市民部長 今後の研究課題とする。



狭山茶ブランドを守れ／ 負担の軽減

広森 すみ子 議員
(日本共産党)

◆**新茶に向けた対策**

①福島原発の影響で茶農家・茶業者は大打撃を受けている。風評被害からの信頼回復、消費拡大のため市として検査体制の拡充支援とPR支援を ②市や学校給食などのお茶の活用を。

市長 ①予算に狭山茶消費拡大振興事業費を大幅に増額した。狭山新茶と花いっぱいまつりで安全な新茶を味わってもらうことが狭山茶復活になると考える。検査費用や品質向上の支援に積極的に取り組む。

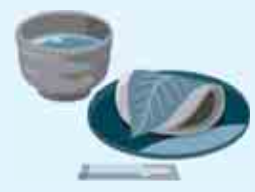
学校教育部長 ②茶飲料や抹茶パンを予定している。子どもたちから狭山市に親しむことができるよう工夫し、お茶を活用する回数をふやす。

◆**介護認定を受けている人の負担の軽減**になる「障害者控除対象認定書」は、申請方式から自動送付に改善を。

長寿健康部長 扶養関係、所得税などの課税状況、身体障害者手帳の有無などを確認する必要がある。申請に基づく交付としている。認定書の交付実績のある方へは、次年度以降申請を省略する扱いができるよう検討していく。

◆**学校でのけがなどには災害共済給付金制度**があるが、治療には一部負担が生じる。窓口負担をなくしてほしい。

教育長 学校でのけがで、日本スポーツ振興センター災害給付金などがある場合、子ども医療費で立てかえて支払うことはできず、窓口払いの廃止は難しい。



ここでは、議員の質問から主な項目をご紹介します。すべての質問項目は、ホームページでご覧いただけます。



再生可能エネルギーを導入し 速やかに推進を

高橋ブラクソン久美子 議員
(無所属)

◆**再生可能エネルギー**の利用を増やす考えは。太陽熱、風力エネルギーの活用補助金を。スマートコミュニティに対する考えは。エネルギー利用指針(新エネルギービジョン)を策定してはどうですか。

市長 太陽光発電システムが安定しており、24年度も補助金を充実した。スマートコミュニティは、市の現状や課題を整理した。エネルギー利用指針は、近隣の状況や課題を調査し、関連部署と必要性を検討する。

◆**環境経済部長** 風力、水力の可能性も含め検討する。

◆**保育所、学校の給食で放射能検査**をし、食材の産地の公表をしたらどうですか。

教育長 検査は4月から堀兼学校給食センターで定期的にを行う。食材はホームページで公表している。

福祉こども部長 検査は国や県の測定結果から放射線量が高いと示唆される食材の仕様を控え、学校給食センターの測定器で実施する。食材は保育所ごとに掲示してお知らせする。

◆**市立幼稚園への障害児の入園**には介助員をつけてほしいですが、いかがですか。

学校教育部長 制度の活用を含めたケースはあるが、専任の介助員の配置は考えていない。

◆**学童保育室**には、希望すれば4年生以上でも入室できますか。

学校教育部長 普通学級児童の保護者から相談は無い。入室は特別支援学級の在学児童に限定している。

◆**水道事業**で、お客様との接点をなくすような料金課のほとんどの業務を民間委託する理由は何か。

市長 利用者の利便性の増進を図り、経営の効率化による経費削減に取り組むもの。



充実した避難訓練と 実のある小中連携教育を

齋藤 誠 議員
(公明党)

◆**現在、いつ起こるか分からない大地震に備え、個人・家族はもとより、国、自治体、企業も協業して早期に防災対策を講じる必要がある。特に、児童生徒の安全確保について、校舎、体育館の耐震補強は、計画どおりに進めてもらおうが、ソフト面の一つである避難訓練を今後どう充実させていくのか。**

学校教育部長 毎回の訓練の反省をもとにマニュアルや実施計画を見直しして、訓練は具体的な場面を想定し、児童生徒や教職員が危機感を持って避難訓練を実施するよう、引き続き学校を指導していく。

◆**大災害発生時に業務の早期復旧を図るための、市役所の事業継続計画であるBCPの策定状況は。**

市民部長 強毒性新型インフルエンザ対策のため、危機管理マニュアルを策定するとともに、市の重要な業務が停滞を来さないよう新型インフルエンザ対策用のBCPを作成し、平時から危機の各段階まで対処できる体制の構築を図っている。大規模地震の発生に対応するためのBCPも、新型インフルエンザ対策用BCPをベースに策定していく。

◆**学校だよりでも取り上げている、児童生徒の交流**しているが、さらに充実させるための今後の展望は。

学校教育部長 小学校から中学校へ円滑に接続し中一ギャップを解消するとともに、小学校と中学校の9年間の発達段階を見通した一貫性ある教育の推進で、児童生徒の学力や体力の向上、豊かな心の育成などが一層図られると考える。



◆**財政分析から何が見えてくるのか**

①過去からの推移でどんな特徴が見えてくるのか

②人間市など近隣自治体と比較して、狭山市はどうか

総合政策部長 ①昭和後期には都市基盤や施設を整備、財政基盤の礎を構築する。平成初期は財政規模が現水準となり、市民生活や文化、教養が向上する。現在は限られた財源のもと、市民生活の質的向上や地域課題の解決に向けた協働社会の構築を目指している。②22年度は川越・所沢・入間・飯能市と比較した場合、財政力が2位、経常収支比率は1位である。

◆**平成24年度予算はどんな視点で立案したのか**

①狭山市の財政規模をどの程度が適正と考えるか

②国・県と足並みを合わせて予算編成した施策は

③「狭山らしさ」を發揮していく「核」となる施策は

総合政策部長 ①現在の自己財源や国・県の予算状況から、400億円から430億円程度が適正と考える。②エネルギー政策では太陽光発電設置補助を、健康政策では予防接種費用の助成などを行う。

市長 ③地域を支える人材育成と人材を地域に生かす仕組みづくりが目的の「狭山元気大学事業」は重要。

◆**将来にツケをまわさない財政運営とは**

将来に向けた財政基盤の強化をどう考えるか。狭山茶の信頼回復消費拡大、小児救急医療などの充実、行政と市民をつなぐ中間支援組織の設立などを望む。

市長 財政状況を多角的に分析し、財政的特徴を把握し、将来負担を見据えた中長期的な財政収支計画を立てることも必要である。また、引き続き行政改革を推進し、限られた財源を有効に活用し、行政サービスを低下させず、健全な財政の維持に努める。



狭山市の財政は 大丈夫なのか

太田博 希 議員
(志政会)